若さでがんばってます

254

今回は緑区の
藤島　崇人さん（26歳）
を紹介します。

千里の道も一歩から

―今までは。
大学卒業後、ＪＡいわてくじ普代支店でお世話になっています。

―仕事の内容は。
勤めて三年になりますが、購買を担当しています。

―職場で心掛けていることは
ミスのないように心掛けています。

―今の仕事についた理由は。
地元で働きたかったからです。

―仕事が休みの日は何をしていますか。
家にはほとんどいません。友達とどこかに遊びに行っています。

―今、してみたいことは。
長い休みを取りたいですね。

―趣味、特技は。
スポーツ観戦とドライブ。

―好きな言葉（信条）は。
千里の道も一歩から。

―理想の女性像と結婚は。
一緒にいて安心できる人。あと価値観が似通っている人がいですね。

―将来のあなたは。
普代にいます。

―これからの村に期待するものは何ですか。
産業が発展し雇用の場があって活気のある村になればいいと思っています。

―最後にあなたのＰＲを。
村内を走り回っています。見かけたら気軽に声を掛けてください。

―次回はどなたを紹介してくださいますか。
白井の中田祐子さんです。

図書室漫歩

『山の幸利用百科』
大沢　章

山菜や木の実、野生キノコなど山の幸は栄養価や機能性が高く、健康食として見直されています。山の幸の魅力と薬効や機能性、加工、保存、料理の方法を紹介した一冊。（農文協）

『アーサーとミニモイたち』
リュック・ベンソン

アーサーは、四年前に姿を消してしまった祖父が残した不思議なメッセージを屋根裏部屋で見つけ出します。そんなとき、大事な家が欲深い男の手に渡りそうに。アーサーは、宝物が眠るという地下世界へ旅立つ決心をしました。（角川書店）

『ドッグ・シェルター』
今西　乃子

アメリカのポートランド。捨て犬を、新しい買い主へ渡すまでの間少年院の子どもたちが世話をします。過ちを犯した少年たちが命を預かることで、命の大切さと自分自身の存在価値を見出していく「生命（いのち）」の再生物語です。（集英社）

『だいじょうぶ？だいじょうぶさ！』
ダビット・モリション

地球が大ピンチ！便利なものといっしょに汚染された物質もあふれてしまった地球。森の動物たちが汚染物質に巻き込まれていきます。さて、動物たちはどうなってしまうのでしょう！（小学館）